

クマガリスナガイ

Bensonella plicidens (Benson)
異鰓目・キバサナギガイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

分布域が極めて限られ、生息条件が著しく悪化し、危機的水準にまで減少している。

分布

新潟県から九州まで分布する。県内では、敦賀市、南越前町、瀬戸倉で確認されている。

種の特徴

殻長 2.5 mm 程度で円錐形。殻口は広がり、殻口内には多くの鈎状の歯がある。石灰岩地にのみ生息し、湿った石灰岩の上や周辺の落葉下に生息する。分布域は不連続で産地は局限される。

生息を脅かす要因

分布域は不連続で産地は局限される。石灰岩の採掘、森林の伐採、生息地周辺の開発にともなう森林の乾燥化により、生息環境が悪化、減少している。

参考文献 福井県編 (2002)、環境省編 (2014a)、東 (1995)

市町別生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○		○									

キョウトギセル

Mundiphaedusa kyotoensis (Kuroda)
異鰓目・キセルガイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

分布域が極めて限られ、危機的水準まで減少している。

分布

近畿地方の北部から北陸南部にかけて分布する。県内では、池田町、南越前町、大野市等山地帯で確認されている。

種の特徴

殻長 14 ~ 17 mm、殻径 3.4 ~ 3.6 mm 程度の円筒状紡錘形。螺層は 10.0 ~ 10.5 層。殻色は白みがかかった黄褐色で半透明である。広葉樹やスギ林の林床のれきや朽木の堆積する場所に生息する。

生息を脅かす要因

タイプ標本の産地である京都市では、森林伐採やコレクターによる乱獲で絶滅が危惧される。本県では、生息地周辺の林道整備や樹林の伐採による林床の乾燥化等による、生息環境の改変が要因である。

参考文献 福井県編 (2002)、環境省編 (2014a)、福井県自然環境保全調査研究会編 (1985)、東 (1995)、湊 (1994)

市町別生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○	○							○	

コベソマイマイ

Satsuma myomphala myomphala (Martens)
異鰓目・ニッポンマイマイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

近畿以西、四国、九州に生息する普通種であるが、福井県では日本海側北限に位置し、近年では生息が確認されていない。

分布

関東以西の本州、四国、九州に分布する。県内では、おおい町以西に分布する。

種の特徴

殻高 30 mm、殻径 44 mm 程度で、淡黄色の貝類。体層周縁に 1 本黒褐色の帯があるがほかの螺層では縫合に沿う。地表性で、やや乾燥気味な落葉樹の根元や落ち葉の下に生息する。

生息を脅かす要因

大規模な宅地造成、林道等の道路や砂防ダム建設等による生息地の改変が主な要因である。

参考文献 福井県編 (2002)、福井県自然環境保全調査研究会編 (1985)、東 (1995)、湊 (1983b)、波部 (1982)、松村 (2001)

市町別生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○														